

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【公開番号】特開 2008-18793 (P2008-18793A)

【公開日】平成 20 年 1 月 31 日 (2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2008-004

【出願番号】特願 2006-191001 (P2006-191001)

【国際特許分類】

B 6 0 S 3/06 (2006.01)

A 4 6 B 13/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 S 3/06

A 4 6 B 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車あるいは車両の外面の被洗浄面に付着した汚れ等を洗浄する為の洗車機に使用する洗車機用洗浄ブラシにおいて、前記洗車機用洗浄ブラシは、ブラシ片、及び回転軸を有し、前記ブラシ片は開放側端部にスリットを有して前記回転軸の外周部に該回転軸の半径方向に延出して形成されてあると共に、前記スリットにより分割された細分割部を有し、前記スリットは前記回転軸の軸心から該回転軸の半径方向に延出する垂線にたいして、傾斜角度を有して形成されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 2】

請求項 1 記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、複数の前記ブラシ片が被洗浄面に当接する時に、前記洗車機用洗浄ブラシは、一回転する間に、傾斜角度の異なる前記スリットにより分割された細分割部が当接するよう形成されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、複数の前記ブラシ片が被洗浄面に当接する時に、前記洗車機用洗浄ブラシは、一回転する間に、傾斜角度の方向が異なる前記スリットにより分割された細分割部が当接するよう形成されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、複数の前記ブラシ片が被洗浄面に当接する時に、前記洗車機用洗浄ブラシは、一回転する間に、前記回転軸の軸心の垂線にたいして、前記軸心の長手方向の一方向に傾斜角度を有するブラシ片、及び前記回転軸の軸心の垂線にたいして、前記軸心の長手方向の他の方向に傾斜角度を有するブラシ片が当接するよう形成されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、被洗浄面に当接する前記細分割部の端部形状は少なくとも一部に曲線形状が形成されてある

ことを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 6】

駆動源と、被洗浄面に散布する洗浄剤及び洗浄水を噴出させるノズルと、洗浄後の被洗浄面を乾燥させる乾燥手段を備えると共に、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の洗車機用洗浄ブラシを搭載した洗車機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記従来の課題を解決する為に、本発明の洗車機用洗浄ブラシは、自動車あるいは車両の外面の被洗浄面に付着した汚れ等を洗浄する為の洗車機に使用する洗車機用洗浄ブラシにおいて、前記洗車機用洗浄ブラシは、ブラシ片、及び回転軸を有し、前記ブラシ片は開放側端部にスリットを有して前記回転軸の外周部に該回転軸の半径方向に延出して形成されており、前記スリットにより分割された細分割部を有し、前記スリットは前記回転軸の軸心から該回転軸の半径方向に延出する垂線にたいして、傾斜角度を有して形成されているもので、スリットにより分割されたブラシ片の複数の細分割部は、被洗浄面である車体にたいして斜向した洗浄軌跡を描きながら当接する。その為、細分割部により、車体の細かな凹凸部分の汚れが取り除かれると共に、車体に接触しないスリットによる切り込み部分が描いた軌跡にも、隣り合わせの細分割部が、順次、当接し、汚れを取り除くので、筋状の洗浄残りの発生が防止される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の洗車機用洗浄ブラシは、ブラシ片に形成されたスリットが、回転軸の軸心から該回転軸の半径方向に延出する垂線にたいして、傾斜角度を有して形成されているので、スリットにより分割されたブラシ片の複数の細分割部は、被洗浄面である車体にたいして斜向した洗浄軌跡を描きながら当接する。その為、細分割部により、車体の細かな凹凸部分の汚れが取り除かれると共に、車体に接触しないスリットによる切り込み部分が描いた軌跡にも、隣り合わせの細分割部が、順次、当接し、汚れを取り除くので、筋状の洗浄残りの発生が防止され、高い洗浄機能を発揮することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第 1 の発明は、自動車あるいは車両の外面の被洗浄面に付着した汚れ等を洗浄する為の洗車機に使用する洗車機用洗浄ブラシにおいて、前記洗車機用洗浄ブラシは、ブラシ片、及び回転軸を有し、前記ブラシ片は開放側端部にスリットを有して前記回転軸の外周部に該回転軸の半径方向に延出して形成されており、前記スリットにより分割された細分割部を有し、前記スリットは前記回転軸の軸心から該回転軸の半径方向に延出する垂線にたいして、傾斜角度を有して形成されていることを特徴としているもので、スリットにより分割されたブラシ片の複数の細分割部は、被洗浄面である車体にたいして斜向した洗浄軌跡を描きながら当接する。その為、細分割部により、車体の細かな凹凸部分の汚れが取り除かれると共に、車体に接触しないスリットによる切り込み部分が描いた軌跡にも、

隣り合わせの細分割部が、順次、当接し、汚れを取り除くので、筋状の洗浄残りの発生が防止され、高い洗浄機能を発揮することができる。